

延岡市年表

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇三	平成 十五	<p>市長 櫻井哲雄(第二十三代)</p> <p>一月・延岡市・北方町・北浦町・北川町任意合併協議会を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島野浦中学校の新校舎及び体育館が完成した。 ・東海町の常夜灯が市の有形文化財に指定された。 <p>〔北浦灘アジ〕が宮崎県水産物ブランドの認証を取得した〕</p> <p>二月・延岡市制施行70周年記念式典が開催され「未来をひらく人づくり都市宣言」が発表された。またこの年は延岡城築城四百年にあたり、それを記念して様々なイベントが開催された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元延岡市長房野博(第14代)第16代)が逝去された。 <p>三月・のべおか男女共同参画プランが策定された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2期ハートフルプラン21を策定した。この後、三年ごとに同計画を見直し、改定した。 ・須美江小学校を閉校とし、熊野江小学校に統合した。 ・延岡市健康増進計画「健康のべおか21(第一次)」 	<p>一月・横綱貴乃花が引退。朝青龍が第六十八代横綱に昇進した。</p> <p>二月・米スペースシャトル「コロンビア」が空中分解し、乗員は全員死亡した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の木に「ヤマザクラ」と「オビスギ」を追加決定した。 <p>三月・「千と千尋の神隠し」が米アカデミー長編アニメーション賞に選ばれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米英軍がイラクに軍事攻撃を開始した。 ・九州縦貫自動車道加久藤トンネルが貫通し式典を挙行了した。 ・国道218号高千穂バイパスが全線開通した。 <p>四月・日本郵政公社が発足した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立産業技術専門学校が開校した。 ・「神話・伝説のふるさとツーリズム特区」が国の構造改革特区第1号の認定となった。 ・日米英等の国際チームがヒトゲノム解

※()は合併以前の三町の事例である。

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇三	十五	<p>を策定した。この後、五年ごとに同計画を見直し、改定した。</p> <p>〔北川町の4中学校（祝子川・下赤・松葉・瀬口）を閉校とし、北川中学校に統合した。〕</p> <p>〔第9回全国青年・女性漁業者交流大会で北浦漁協まき網船協業体代表の山田興一郎が水産庁長官賞を受賞した〕</p> <p>四月・市議会議員選挙が行われた。</p> <p>・九州保健福祉大学に薬学部が新設された。</p> <p>・伝統文化の次世代への継承を促進するために創設された文化庁助成事業「伝統文化」ことも教室二（～23年3月）に、本市から9団体が採択され、教室が実施された。</p> <p>〔祝子川小学校を閉校とし、廃止とした。〕</p> <p>六月・「こみ処理広域化延岡・西臼杵ブロック（一市六町）協議会」を設立した。</p> <p>七月・世界剣道選手権大会で、佐藤博光が個人戦・団体戦で優勝した。</p> <p>八月・「住民基本台帳ネットワークシステム」が二次稼動し、住民基本台帳カードの発行を開始した。</p> <p>・「総合行政ネットワーク（LGWAN）」に接続し、国や全国の自治体とつながった。</p>	<p>読終了を宣言した。</p> <p>・川口順子外相がイラクに対する人道支援策（最大1億ドルの資金拠出）を発表した。</p> <p>・米ドジャーズ野茂英雄が、大リーグ通算100勝を達成した。</p> <p>・米・英軍がイラク全土を掌握。5月に米大統領が戦争終結を宣言した。</p> <p>五月・「個人情報保護関連3法」が成立した。</p> <p>六月・「有事法制関連3法」が成立した。</p> <p>七月・イラク復興支援特別措置法が成立した。</p> <p>・水泳世界選手権で北島康介が平泳ぎの100mと200mで、世界新記録で優勝。世界陸上2000mで末續慎吾が日本人初の短距離銅メダルを獲得した。</p> <p>・子育て支援強化のための「次世代支援法」「少子化対策法」が成立した。</p> <p>八月・北朝鮮の核問題をめぐる、6カ国協議がスタートした。</p> <p>九月・民主、自由両党が合併協議書に調印した。</p> <p>・女子ゴルフの宮里藍が国内ツアーにお</p>

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇三	十五	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバシアード大会の競泳で、松田丈志が金メダルを獲得した。 九月・「のべおか天下一薪能」「城山かくらまつり」「今山八幡神輿」がドイツのボン市で公演、日本文化を海外に発信した。また美術展示館において天下一能面展を開催した。 ・延岡市制施行70周年記念事業として「延岡市史(70年史)」を刊行した。 十月・旭化成㈱が「分社・持株会社制」に移行した。それに伴い、市は各社と公害防止に関する協定を締結した。また薬品工場内に保存されている「カザレー式アンモニア合成装置」が市の有形文化財に指定された。 ・城山に「歴代延岡城主の碑」を建立した。 〈北方小学校が創立100周年記念式典を行った〉 十一月・内藤家より、宮長町の山林約10000haが市に寄贈された。 ・「今山八幡祭御神幸行列絵巻」の行列が再現された。 ・「伝蒲生家鉄製背負陣太鼓」「行勝臼太鼓踊り」が、それぞれ市の有形文化財、無形文化財に、また、「行勝のギンモクセイ」が、市の天然記 	<ul style="list-style-type: none"> いて、18歳3カ月で史上最年少優勝を果たした。 ・冷夏で米不足となり、19万トンの在庫米が放出された。 十月・ブッシュ米大統領が来日し、小泉首相と首脳会談を実施した。 ・宮崎大学と宮崎医科大学が統合された。 ・中国が初の有人宇宙飛行船「神舟5号」の打ち上げに成功した。 ・俳優のシュワルツネッカーが米カリフォルニア州知事に当選した。 十一月・第43回衆議院議員選挙が実施され、自民党と民主党の2大政党時代が始まった。 ・第2次小泉内閣が発足し、17閣僚全員を再任した。 ・イラクで日本人大使館員2人が殺害された。 十二月・イラク復興支援の第一陣、航空自衛隊の先遣隊がクウェート、カタールに向け出発した。 ・米でBSE感染牛が発見され、米国産

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇三	十五	<p>念物に指定された。</p> <p>十二月・東九州自動車道蒲江（北川間（26km））が新直轄方式により整備されることに決定した。</p>	<p>牛肉の輸入を禁止した。</p> <p>米軍がフセイン前イラク大統領を拘束した。</p>
二〇〇四	平成十六	<p>市長 櫻井哲雄（第二十三代）</p> <p>一月・延岡市・北方町・北浦町法定合併協議会を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五ヶ瀬川水系河川整備基本計画が決定した。 ・佐藤博光、松田丈志が「アスリートタウン延岡スポーツ特別賞」を受賞した。 <p>三月・延岡市男女共同参画推進条例が制定された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川中コミュニティセンターと男女共同参画センターの複合施設が完成した。 ・環境マネジメントシステムの国際規格「ISO 14001」の認証を取得した。 ・三歳に達する年度当初からの幼稚園入園を認める「市幼児教育特区」が国に認定された。 ・西階幼稚園第二園舎を閉園とし、西階幼稚園に統合した。 <p>〈激甚災害〉に対し、築堤・河道掘削などと併せて、治水及び動植物を含めた自然環境に配慮した、総合的な北川激甚災害対策特別緊急事業が完成</p>	<p>一月・陸上自衛隊先遣隊と航空自衛隊本隊にイラク派遣命令が下され、陸自先遣隊がサマワに到着した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアで猛威をふるっていた鳥インフルエンザが国内で79年ぶりに発生し、大量の鶏が殺処分された。 <p>二月・モスクワ地下鉄で爆弾テロ、40人が死亡した。</p> <p>三月・スペインのマドリッドで列車爆破テロが発生し、死者200人以上の大惨事となった。</p> <p>四月・全天候型運動施設の県営「木の花ドーム」がオープンした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立西都原考古博物館がオープンした。 ・天皇・皇后両陛下をお迎えし、第55回全国植樹祭を宮崎県で開催した。 ・公職選挙法が改正され、一期日前投票が初めて実施された。

西曆	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇四	十六	<p>した)</p> <p>〈曾木慈眼禅寺僧胤康関係資料が県有形文化財に指定された〉</p> <p>四月・延岡市と三北町、西臼杵三町とで「広域ごみ処理施設整備に係る事前調査費や人件費の負担等に関する協定書」を締結した。</p> <p>〈北方幼稚園で2年保育を開始した〉</p> <p>五月・「ごみ処理広域化延岡・西臼杵ブロック協議会」において、新清掃工場の焼却方式を「ストーカー炉＋セメント原料化」に決定した。</p> <p>六月・個人市民税、均等割税率2千円を3千円に改正した。生計同一妻にも同率課税とした。</p> <p>七月・延岡地区夜間急病センターを出北6丁目に移転新築した。また開設者を(社)延岡市医師会会長から延岡市長に変更し、施設名称を「延岡市夜間急病センター」に変更した。</p> <p>・愛宕山公園からの夜景が県内で唯一「日本夜景遺産」に、8月に「夜景100選」に選ばれた。</p> <p>〈北浦観光協会と蒲江町観光協会が「東九州伊勢えび海道」の協定を結んだ〉</p> <p>八月・市立図書館が新館開館以来の入館者数400万人を、9月には貸出冊数300万冊を達成した。</p>	<p>・年金保険料未納問題が政界に波及し、閣僚等の辞任に発展した。</p> <p>五月・第24回宇宙技術及び科学の国際シンポジウムを宮崎市で開催した。</p> <p>・小泉首相が平壤を訪問。拉致被害者家族の蓮池・地村・曾我が帰国した。</p> <p>・裁判員制度法が成立した。</p> <p>六月・年金改革関連連法が成立した。</p> <p>・佐世保市の小学校で、6年の女子児童が同級生女兒を刺殺した。</p> <p>・小泉首相が、自衛隊の多国籍軍への参加を表明し、参加が実現した。</p> <p>八月・アテネ五輪開幕。V2の谷亮子、V3の野村忠宏らが柔道で金8個。マラソンの野口みずき、競泳800m自由形の柴田亜衣、平泳ぎ2冠の北島康介らが金。全体で金16、銀9、銅12、計37個のメダル獲得となり、史上最多となった。</p> <p>九月・ロシア北オセチア共和国でチェチェンの武装勢力が中学校を占拠。部隊が突入し大惨事となった。</p>

西暦	二〇〇四
年号	十六
事項	<p>九月・アテネオリンピックの柔道で、泉浩が銀メダルを獲得した。</p> <p>九月・東海中学校校舎新增改築工事が完工した。 〈台風18号〉により被害が発生し、北方町で床上浸水34戸、床下浸水46戸、役場庁舎も床上浸水となった</p> <p>十月 十月 〈台風23号〉が襲来し、北川の氾濫で床上浸水184戸、床下浸水125戸の被害が発生した</p> <p>十一月・名水小学校が優良PTAとして文部科学大臣表彰を受賞した。</p> <p>・元延岡市長早生隆彦（第十七代、第二十代）が逝去された。</p> <p>・南方小学校が学校給食で文部科学大臣表彰を受賞した。</p> <p>・カルチャーゾーンを構成する社会教育課、図書館、文化課の3課が連携し、文化の日に第1回カルチャーゾーンフェスタを開催した。</p> <p>十二月・愛宕山の登山道が「美しい日本の歩きたくなる道500選」に選ばれた。</p> <p>・東海東小学校が「全国花いっぱいコンクール」で法務大臣賞を受賞した。</p>
参考事項	<p>十月・日本プロ野球選手会がチーム減に反対し、史上初のストライキに突入した。</p> <p>十月・防災救急ヘリ「あおぞら」を宮崎県が導入した。</p> <p>・イチローが米大リーグ年間最多安打の記録を更新（最終262本）した。</p> <p>・新潟中越地震（M6.8）で、走行中の新幹線が脱線した。</p> <p>・この年は6月から10個の台風が上陸し各地で多数の死者・行方不明者が出た。</p> <p>・EU25カ国首脳が、EU憲法に調印した。</p> <p>・イラクで武装勢力が日本人を拘束、殺害した。</p> <p>十一月・ブッシュ米大統領が再選された。</p> <p>十二月・インドネシア・スマトラ島沖で発生した地震（M9.0）は、ベンガル湾に大津波を引き起こし、南アジア6カ国の死者が1万1000人を超えた。</p> <p>・11月に北朝鮮から提供された「遺骨」が横田めぐみとは別人であることが判明した。</p>

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇五	平成十七	<p>市長 櫻井哲雄（第二十三代）</p> <ul style="list-style-type: none"> 一月・松田文志、大野龍二、工藤恭子が「アスリートタウン延岡スポーツ特別賞」を受賞した。 〔北川町が1市3町の合併協議会から離脱した。〕 二月・延岡市・北方町・北浦町が合併協定書に調印した。 九州保健福祉大学にQOL研究棟が完成した。 三月・東海地区の汚水を五ヶ瀬川・大瀬川の川底に汚水管を通して妙田下水処理場に送る大武汚水幹線がシールド工法で完成した。 延岡市次世代育成支援行動計画の前期計画を策定した。 岡富幼稚園を閉園とした。 延岡市障害者プランを策定した。 〔北方町の上鹿川小学校を閉校とし、美々地小学校に統合した。〕 〔ひむか本サバ〕が宮崎県水産物ブランドの認証を取得した。 四月・「のべおかファミリー・サポート・センター」を、「子育て支援センターおやこの森」内に開設した。 旭化成メデイカル新工場が旧レーヨン工場跡地に完成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 二月・寝屋川市の小学校に17歳の卒業生が侵入し、教員を殺傷。この年、少年少女を巡る深刻な事件が相次いだ。 地球温暖化防止の「京都議定書」が発効した。 三宅島（東京都）の全島避難が4年5カ月ぶりに解除され、第1陣62人が帰島した。 三月・「愛・地球博」が愛知県で開幕され、120カ国以上が参加した。 宮崎県総合長期計画「元気みやざき創造計画」がスタートした。 県は電子申請届出システムのサービスを開始、12月には電子入札システム（公共事業）の一部本運用も開始した。 四月・ローマ法王ヨハネ・パウロ2世（84）が死去。ベネディクト6世が新法王となった。 中国で反日暴動が発生、日系企業や日本の外交施設が被害を受けた。 JR福知山線で脱線事故発生、死者107人とJR史上最悪の事故となった。

西暦	二〇〇五
年号	十七
事項	<ul style="list-style-type: none"> ・日向地区との広域連携のもと、延岡市夜間急病センターにおいて、365日体制の小児科準夜帯診療を開始した。 ・国道10号延岡道路(延岡JCT・IC)延岡南IC)延長7.8kmが暫定2車線で開通し、同道路と市街地を結ぶ延岡インター線が、全区間供用開始となった。 ・事業系一般廃棄物の直管収集を廃止した。 ・南中学校の給食開始により、市内すべての中学校で完全給食が実施されることになった。 ・市立3保育所(東海・伊形・日の出)を民営化し、社会福祉法人(東海・伊形・方財)福祉会に移管した。 ・延岡地区普通科再編整備により、延岡西高校、延岡東高校を統合し、延岡星雲高校が開校した。 ・五月・アジア柔道選手権大会で、齋藤制剛が金、高橋宏明が銀メダルを獲得した。 ・上多々良遺跡埋蔵文化財発掘調査に着手した。(21年11月)。古墳13基・箱式石棺・住居跡2軒・土坑5基・火葬墓2基等を検出。県北初となる壺形埴輪・墨書土器・火葬人骨など、特筆すべき遺物も多数出土した。
参考事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ライブドアとフジテレビが和解し、資本・業務提携で合意。この年、ネット企業とテレビ局等との攻防が激化した。 ・五月・第59回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」を宮崎県で開催した。 ・六月・天皇・皇后両陛下がサイパンを慰霊訪問された。 ・大手機械メーカーの工場従業員らに、アスベストによるがんなどの深刻な被害が相次いでいることが判明した。 ・米大リーグ野茂英雄が日米通算200勝を達成した。 ・七月・ロンドンの地下鉄・バスで同時多発の自爆テロが発生。この年はイスラム過激派による同時爆弾テロが続発した。 ・中国が人民元を切り上げ、1ドル＝8.11元へ。固定相場からバスケット制に移行した。 ・「知床」が世界遺産に登録された。 ・野口聡一が乗るスペースシャトル「ディスカバリー」の打ち上げに成功し、8月に帰還した。

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇五	十七	<p>七月・「延岡・西臼杵ブロック地域 循環型社会形成推進地域計画」を環境省へ提出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界水泳選手権で、松田丈志が銀メダルを獲得した。 ・北浦観光協会と佐伯市観光協会が「東九州伊勢えび海道」の協定を結んだ。 八月・全国高校総体男子バスケットボールで、延岡学園高校が初優勝した。 ・ユニバシアード大会の競泳で、松田丈志が銀メダルを獲得した。 九月・台風14号による大雨で市内に大規模な洪水被害が発生。死者1人、重傷者1人、軽傷者2人、全壊78戸、半壊649戸、床上浸水567戸、床下浸水788戸となった。各地が断水となり、九州各地から応援給水を受けた。農林業やTR高千穂鉄道も甚大な被害を受けた。 ・世界柔道選手権大会で、泉浩が金、高井洋平が銅メダルを獲得した。 十月・東海中学校吹奏楽部が「全日本吹奏楽コンクール」で金賞を受賞した。 ・自主防災組織及び育成を推進するため、延岡市自主防災組織連絡協議会を結成した。 	<p>八月・県のキャッチフレーズを「きつと、元気。ほっと、みやぎき」に決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米南部でハリケーン「カトリナ」の被害が拡大。ニューオーリンズを中心に死者・行方不明者が数千人となった。 ・郵政民営化関連法案が、参議院で否決され、小泉首相は衆議院を解散。総選挙に突入した。 ・イラク移行政府によって作られた新憲法案が国民議会によって承認された。 九月・宮崎駿がベネチア映画祭で栄誉金獅子賞を受賞した。 ・第44回衆議院議員選挙が行われ、自民党が圧勝、民主党惨敗の結果となった。 ・台風14号により県内に大きな被害が発生した。被害総額は約1289億円となった。 ・北朝鮮の非核化へ、6カ国協議が初の共同声明を発表した。 十月・パキスタンでM7.6の地震が発生、死者7万人を超える大災害となった。 ・郵政民営化関連法案が成立した。

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇五	十七	<p>十一月・台風14号の水害が、五ヶ瀬川激甚災害対策特別緊急事業に採択された。</p> <p>〔北川中学校が学校保健で文部科学大臣表彰を受賞した。〕</p> <p>十二月・齋藤制剛、高橋宏明、松田丈志が「アスリートタウン延岡スポーツ特別賞」を受賞した。</p> <p>・旧延岡市・北方町・北浦町・北川町の4つのPTA連絡協議会を統合し「延岡市PTA連絡協議会」となった。</p>	<p>・日本政府が、労災以外のアスベスト被害中皮腫患者の救済方針を決定した。</p> <p>十一月・県総合農業試験場本場がリニューアルした。</p> <p>・紀宮清子内親王が、黒田慶樹（東京都職員）と挙式した。</p> <p>十二月・国内の日本人の人口が、初の減少に転じたことを厚労省が発表した。</p>
二〇〇六	平成十八	<p>市長 首藤正治（二十四代）</p> <p>一月・市長選挙が行われた。</p> <p>二月・第二十四代延岡市長に首藤正治が就任した。</p> <p>・国道218号北方延岡道路（舞野～延岡JCT・IC）延長2.1kmが暫定2車線で開通した。</p> <p>・延岡市と北方町・北浦町が合併（20日）し、新延岡市が誕生した。</p> <p>・合併特例により、農業委員数が40人、市議会議員数が58人となった。</p> <p>三月・第二十八代延岡市助役に杉本隆晴が、収入役に町田訓久が就任した。</p> <p>・一般廃棄物処理基本計画を策定した。</p>	<p>二月・「宮崎県行政改革大綱2006」を策定した。</p> <p>・トリノ冬季五輪で、女子フィギュアスケートの荒川静香が金メダルを獲得した。イナバウアーが国民を魅了した。</p> <p>三月・第4次宮崎県高齢者保健福祉計画・第3期宮崎県介護保険事業支援計画を策定した。</p> <p>・元気みやざき文化振興ビジョンを策定した。</p> <p>・延岡警察署新庁舎の建設・移転が完了し、5月に落成式を挙行了した。</p>

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇六	十八	<p>四月・延岡第二高校が延岡青朋高校と名称変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの収集業務の一部を、延岡地区環境整備事業協同組合に委託した。また、資源物にペットボトル・プラスチック製容器類を追加した。 ・介護保険法が改正施行され、地域包括支援センターが市内10カ所に設置された。 ・指定管理者制度を導入した。 ・市立2保育所（南・一ヶ岡）を民営化し、社会福祉法人（わかたけ・ゆりかご）福祉会に移管した。 ・宇和田トンネルの開通に伴い、広域農道が小峰町から祝子町まで開通した。 ・50歳以上の男性対象の「前立腺がん検診」を、市独自で導入した。 ・「延岡市災害情報メール」の運用を開始した。 <p>五月・環境省「快水浴場百選」に、下阿蘇ビーチと須美江海水浴場が選ばれた。</p>	<p>四月・マンシヨン耐震強度偽装事件で、建築士や開発会社社長らが逮捕された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イランが低濃縮ウラン製造に成功したと発表。国連安保理は制裁決議を採択した。 ・中国胡錦濤主席が、初の米国公式訪問をした。 ・沖縄で第4回太平洋・島サミットを開催した。 ・インドネシア・ジャワ島でM6.3の地震が発生し、約6000人が死亡。日本は自衛隊の救助隊を派遣した。 ・村上ファンド代表がインサイダー取引容疑で逮捕された。 ・陸上自衛隊がイラク撤収を完了した。 ・イスラエル軍がレバノンへ侵攻（8月に停戦発効）した。

西暦	二〇〇六
年号	十八
事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国交省の日本風景街道（シーニック・バイウェイ）に、「蒲江・北浦大漁海道」が選定された。 ・ 全国新酒品評会で千徳酒造の「千徳」が2年連続で金賞を受賞した。 ・ 城小学校が創立100周年記念式典を行った。 ・ 全国少年柔道大会で、芦塚柔道場が団体優勝した。 ・ 災害時のボランティア活動を円滑に進めるため「延岡市災害ボランティアネットワーク」が発足した。 七月・市長と地区住民が直接意見交換を行う、第1回「まちづくり懇談会」を開催した。 ・ 市内スーバーや事業所等と「災害時における生活物資等の供給に関する協定（お助け隊）」を締結した。 ・ 旭化成エヌエスエネルギーの火力発電施設（旭町）が完成し、本格稼働した。 ・ 経済産業省の「がんばる商店街77選」の「アイデア商店街」部門に、山下新天街が選定された。 八月・延岡市・北川町の法定合併協議会を設置した。 ・ 恒富中学校校舎新增改築工事が完工した。 ・ 全国小学生学年別柔道大会の男子5学年40kg級で、磯田範仁（北浦小）が優勝した。
参 考 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日銀は、5年4カ月続けた「ゼロ金利」解除を決定。景気は「いざなぎ景気」を超え、戦後最長を更新した。 八月・福岡市職員が飲酒運転で追突事故を起こし、幼児3人が死亡。加害者と一緒に飲食したり、同乗していた職員も厳罰処分にする自治体が多くなった。 ・ 国際天文学連合総会で、太陽系惑星は8個とし、冥王星は矮惑星と決定した。 九月・安倍晋三が第九十代首相に選出され、初の戦後生まれの首相が誕生した。 ・ 41年ぶりに皇室に男子（秋篠宮悠仁親王）が誕生した。 ・ タイでクーデターが発生。軍・警察の長らで構成する「民主改革評議会」が権力を掌握した。 ・ オウム真理教元代表松本智津夫（麻原彰晃）の死刑が確定した。 十月・北朝鮮が地下核実験を行った。国連安保理は制裁決議を行い、発動した。 ・ 福岡県の中学2年男子、岐阜県の中学2年女子が相次いで自殺。いじめが原

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇六	十八	<p>九月・台風13号による竜巻で、市内に人的被害や住家被害が発生。死者3人、重傷者3人、軽傷者140人、全壊120戸、大規模半壊85戸、半壊280戸、一部損壊1134戸の被災により、災害救助法が適用された。</p> <p>十月・第10回のべおか天下一新能を、10周年を記念して2日間公演した。</p> <p>十一月・延岡市・北川町合併協定調印式を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第10回「城山かぐらまつり」が、県内の郷土芸能も参加して、盛大に開催された。 ・旧丸岡町の合併に伴い、福井県坂井市と姉妹都市を締結した。 ・城山公園が「日本の歴史公園100選」に選出された。 ・北川町のふるさと林道、竜子下祝子線（延長12・3km）が全線開通した。 <p>十二月・アジア競技大会で、競泳の松田丈志が金・銀・銅柔道の高松正裕が銀、高井洋平・泉浩が銅メダルを獲得した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市議会議員定数を33人とする議員定数条例の一部改正案を可決した。 	<p>因とみられ、学校や教育委員会の対応の甘さが指摘された。</p> <p>十一月・「女性副知事フォーラム2006みやざき」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラク戦争を争点とした米中間選挙で共和党が敗北した。 <p>十二月・「ブラックイルミネーション2006 Xmas」（温暖化対策―一斉消灯）を宮崎で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日豊本線日向地区の連続立体交差事業で、高架が開通した。 ・「国と郷土を愛する態度」などを盛り込んだ改正教育基本法が成立。また「防衛省」関連法案も成立し、自衛隊の海外派遣が可能となった。 ・イラクが内戦状態となり、フセイン前イラク大統領にイラク高等法廷から死刑判決が言い渡され、12月に死刑が執行された。 ・公共事業を巡る官製談合事件が、全国（福島県・和歌山県・宮崎県）で発生し、県知事の逮捕が相次いだ。

西暦	年号	事項	参考事項
二〇〇七	平成十九	<p>市長 首藤正治(第二十四代)</p> <p>一月・松田丈志がアスリートタウン延岡スポーツ特別賞を受賞した。</p> <p>二月・北方コミュニティセンターが完成した。</p> <p>・大規模災害発生時、被災した市に対して相互に災害応急措置を実施するため、大分県佐伯市と「災害相互応援協定」を、また6月には消防本部が「消防相互応援協定」を締結した。</p> <p>・写真家長友健二(市美展審査員・延岡市出身)の遺作展「写真家 長友健二 遺作展」(宮崎日日新聞社主催)を開催した。</p> <p>三月・延岡市と北川町が合併(31日)し、新延岡市が誕生。5月に合併記念式典が開催された。</p> <p>・県立延岡西高校・県立延岡東高校の閉校式が行われた。</p> <p>・複合商業施設「コレッタのべおか」が、アツマヤ跡地にグランドオープンした。</p> <p>・北浦小学校校舎新增改築工事が完工した。</p> <p>・山下新天街のアーケード、及びアーケード内のブロック舗装工事が完成した。</p> <p>・北川町との合併により、市域が九州第2位の面積になった。これに伴い、延岡市と旧北川町、</p>	<p>一月・東国原英夫が第五十二代宮崎県知事に就任した。</p> <p>・清武町・日向市・新富町において、高病原性鳥インフルエンザが発生した。</p> <p>・文科省は給食費滞納者が9万8993人で、未納額は22億円に上ると発表した。</p> <p>・年明け早々の洋菓子チェーン不二家の食品偽装に始まり、大阪の「船場吉兆」原材料偽装まで、この年は、「食」の安全・信頼が大きく揺らいだ。</p> <p>二月・約5000万件にも上る、該当者不明の「宙に浮いた」年金記録が表面化、社会保険庁に国民の怒りが噴出した。社会保険庁は解体。12月に「ねんきん特別便」の発送が始まった。</p> <p>三月・夕張市が財政再建団体になった。</p> <p>・市町村合併により、宮崎県は9市18町3村の30市町村になった。</p> <p>・ライブドア粉飾決算事件で実刑判決が下された。(東京地裁)</p> <p>四月・「県庁」も観光地の一つになり、東国</p>

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇七	十九	<p>旧北方町、旧北浦町の4消防団を統合した。延岡市消防団は6支部19分団107カ部となり、条例定数を2200人とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期延岡市地域福祉計画を策定した。この後、5年ごとに同計画を見直し、改定した。 ・第1期延岡市障がい福祉計画を策定した。この後、3年ごとに同計画を見直し、改定した。 ・延岡市国民保護計画を策定した。 ・延岡市工業振興ビジョンを策定した。 <p>四月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方自治法の改正に基づき助役制・収入役制を廃止し、副市長制を導入した。 ・市民まちづくり活動支援事業が開始された。 ・岡富コミュニティセンターが完成した。 ・県北地区の各組合や協会・事業所等と「災害応急対策に必要な物資の提供に関する協定」や「災害時における救援物資の提供に関する協定」等を締結した。 ・下水道事業に地方公営企業法を適用し、水道事業と組織統合、名称を「上下水道局」とした。 ・災害時の水道施設復旧強化のため「災害時応援隊」が結成された。 ・学校法人ウルスラ学園が経営する聡明中学校が 	<p>原知事の等身大パネルが設置された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立宮崎西高等学校附属中学校が開校した。 ・43年ぶりに小学校6年生、中学校3年生に全国学力テストが実施された。 ・伊藤一長長崎市長が、選挙運動中に暴力団組員に射殺された。 ・米バージニア工科大学で乱射事件が起こり、32人が犠牲となった。 <p>五月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい商品ブランド「みやざき地頭鶏」の認定交付式が行われた。 ・憲法改正手続きを定めた「国民投票法」が成立した。 ・イラク戦争に反対したフランスのシラク大統領の後任に、サルコジ前内相が当選。英国では、6月にブレア首相に代わりブラウン新首相が誕生した。 ・大相撲の白鵬（モンゴル・ウランバートル出身、宮城野部屋）が、第六十九代横綱に昇進した。 <p>六月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県総合計画「新みやざき創造計画」が策定された。

西暦	二〇〇七
年号	一九
事項	<p>開校した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市議会議員選挙が行われた。 五月・全国少年柔道大会団体戦で芦塚柔道場が、個人戦で森翔平（恒富小）が優勝した。 中国遼寧省大連市金州区との間で「友好都市締結に向けて努力する」との覚書を取り交わした。 六月・下水道使用料を14年ぶりに改定した（平均改定率44・3％）。 環境保全率先実行計画（第2版）を策定した。 この後、五年ごとに同計画を見直し、改定した。 七月・延岡市新清掃工場（仮称）建設工事安全祈願祭が執り行われた。 延岡市要保護児童対策地域協議会を設置した。 八月・台風5号による大雨で、北方町二股や曾木等の全域で土砂崩れや浸水被害が発生した。 全国小学生学年別柔道大会で、磯田範仁（北浦小）、森翔平（恒富小）が優勝した。 平成15年から実施してきた北方町上崎地区遺跡本発掘調査が終了した。縄文時代から古墳時代にかけての土器、石器、竪穴式住居跡等が発掘された。 九月・全日本選抜少年柔道大会団体戦で、芦塚柔道場
参考事項	<ul style="list-style-type: none"> 鳥根県の石見銀山が世界遺産に登録された。 七月・参院選で自民党は地方格差や年金問題の逆風を受け、歴史的惨敗となった。 新潟県中越沖でM6・8の地震が発生。東京電力柏崎刈羽原発で、放射能漏れと火災が発生した。 八月・米国でサブプライムローンの焦げ付きが急増。株式市場は暴落し、世界同時株安となった。 九月・早稲田大学古代エジプト調査隊の活動40年を記念し、「古代エジプト発掘40年展」が宮崎で開催された。 安倍首相が退陣。第九十一代首相に福田康夫が就任した。 6カ国協議で北朝鮮が核の無力化に合意し、米朝は関係改善に向けて急接近した。 ミャンマーで民主化要求運動が活発化し、取材中の日本人ジャーナリストが射殺された。 十月・「全国和牛能力共進会」で、全9部門

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇七	一九	<p>が優勝した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風5号の影響で海岸に漂着した流木を、撤去処分する「海岸清掃大作戦」が長浜海岸、東海町河口や北浦町大間海岸で行われた。市民ボランティア約3400人が参加した。 ・高千穂鉄道、榎峰～延岡間の廃止が決定した。 ・延岡市健康教室推進協議会が保健事業推進功労厚生労働大臣表彰並びに生涯スポーツ優良団体表彰（文部科学省）を受賞した。 十一月・南方小学校が創立100周年記念式典を行った。 ・「北浦灘アジ」が国の商標登録に認定された。 十二月・新最終処分場建設用地を北方町笠下に決定した。 ・「延岡市農業委員会の選挙による委員の定数、選挙区等に関する条例」を改正し、農業委員の定数を27人にした。 ・第五次長期総合計画「前期基本計画」を策定した。 <p>市長 首藤正治（第二十四代）</p> <ul style="list-style-type: none"> 一月・延岡市障がい者自立支援協議会を設置し、4つの部会で施策の検討に入った。 二月・延岡の図書館創立90周年を記念して実施した事業「ラタトスキュー」は、影山雄成演出により、 	<ul style="list-style-type: none"> 中7部門で宮崎県が首席を獲得。日本一に輝いた。 ・韓国の盧武鉉大統領と北朝鮮の金正日総書記が、平壤で7年ぶりに南北首脳会談を実施した。 十一月・宮崎からの国際定期便「宮崎～ソウル」線が増便となった。 ・テロ特措法が失効。5年11カ月にわたった海上自衛隊の燃料補給が終了した。 ・山中伸弥京大教授が、人間の皮膚からiPS万能細胞の開発に成功した。 十二月・地球温暖化への危機感が高まり、ゴア前米副大統領らにノーベル平和賞が贈られた。 ・韓国大統領選挙が行われ、野党ハンナラ党の李明博が初当選した。 <ul style="list-style-type: none"> 一月・東京・愛知・福岡で「情熱！みやぎきフェア」を開催し、本県農産物を販売。知事がトップセールスを行った。 ・中国製冷凍ギョーザを食べた10人に中毒症状が発生した。また中国産ウナギ
二〇〇八	平成 二十		

西暦	二〇〇八
年号	二十
事項	<p>映像と音楽等を駆使した前代未聞のエキシビションとなった。</p> <p>三月・延岡市が地域交通計画書を策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島浦町・北川町にケーブルテレビのエリアを拡大し、新市全域でのケーブルテレビ視聴が可能になった。 ・第13回全国青年・女性漁業者交流大会で、北浦養殖マサバ協業体代表の中西茂広が農林水産大臣賞を、さらに全国農林水産祭（11月）では内閣総理大臣賞を受賞した。 ・「伊形花笠踊り」伊形花笠踊り保存会が県無形民俗文化財に指定された。 ・平成改製原戸籍（平成19年改製分）の画像システムが完了し、新延岡市の戸籍電算化が本格稼働した。 ・消防本庁舎・訓練塔・屋外付帯工事の完了に伴い、消防本部・署が船倉町2丁目から、野地町5丁目に移転した。4月に落成式を挙行した。 ・聖心ウルスラ学園歯科衛生士専門学校が閉校となった。 ・北川町内3小学校（松葉・瀬口・下赤）を閉校とし、北川小学校に統合した。
参考事項	<p>の産地偽装や汚染米販売などで、食への不安がさらに高まった。</p> <p>三月・国道220号堀切峠トンネルが開通した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア大統領選挙でメドベージェフが圧勝、プーチン前大統領は首相に就任した。 四月・日之影町・綾町に続き、北郷町が森林セラピー基地に認定された。 ・75歳以上の高齢者を対象にした後期高齢者医療制度がスタートし、年金からの保険料天引き等に苦情が殺到した。 五月・中国四川省でM8.0の大地震が発生。死者・行方不明者が8万7000人に達し、日本の国際緊急援助隊が現地入りした。 ・ミャンマーを大型サイクロンが直撃、死者・行方不明者が約13万人となった。 六月・国際定期便「宮崎〜台北」線が週2便で開設された。 ・東京秋葉原で元派遣社員の20代男性がダガーナイフで歩行者らを次々に襲い

西暦	年号	
二〇〇八	二十	<p style="text-align: center;">事 項</p> <p>四月・延岡市民協働まちづくりセンターが完成した。 ・のおおか市民力市場が結成された。 ・特定健康診査・特定保健指導事業を開始した。 ・介護老人保健施設「東海園」(80床)が新設された。 ・国道218号北方延岡道路(北方IC～舞野)延長6.4kmが暫定2車線で開通した。また北方ICと国道218号を結ぶ北方インター線が開通した。 ・浦城・須美江地区簡易水道施設が供用開始となった。 五月・内田順一(第三十五代木村庄之助・舞野町出身)が延岡市民栄誉賞を受賞した。また「第1号のおおか観光大使」に委嘱された。 六月・市民ボランティア約1000人の協力を得て、19年8月に襲来した台風5号により海岸に漂着した流木の第2回目の撤去作業が方財海岸・東海海岸で行われた。 ・「のおおか地域ブランド推進会議」が発足した。 ・市内すべての小中学校にAED(自動体外式除細動器)が設置された。 七月・国・県委託事業として、岡富中学校区・北方中学校区の小中学校を対象に「学校支援地域本部</p>
		<p style="text-align: center;">参 考 事 項</p> <p>七月・第34回主要国首脳会議(北海道洞爺湖サミット)が開催された。 八月・青少年白書によると、15～19歳の就業者のうち、非正規雇用者の割合が70%を超し、過去最高になった。 ・中国で初の五輪開催。チベットで暴動、ウイグル独立派による爆弾テロ、各人権派による聖火リレーの妨害等が各地で起こった。 ・北京五輪で、競泳の北島康介が平泳ぎ100m・200mで五輪2連覇を果たし、女子ソフトボールは悲願の金メダルを獲得した。 ・アフガニスタンの治安が悪化。日本の非政府組織「ベシヤワール会」の伊藤和也が、武装グループに拉致され、翌日遺体で見つかった。</p>

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇八	二十	<p>事業」を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松山町の矢北玲子が、全国酪農青年女性酪農発表大会で農林水産大臣賞を受賞した。 八月・北京オリンピックで競泳の松田丈志が銅メダルを獲得した。 ・全国高校総体男子バスケットボールで、延岡学園高校が3年ぶり2度目の優勝に輝いた。 ・「中心市街地活性化懇談会」において、延岡駅の整備手法を高架から転換すること等が提言された。 ・新火葬場建設について、熊野江区と基本協定が締結された。 九月・安井・神戸地区で、乗合タクシー「さわやか号」の運行が開始された。 ・松田丈志が延岡市民栄誉賞、宮崎県民栄誉賞を、指導者の久世由美子が延岡市特別功労賞を受賞した。 ・天皇杯全日本男子弓道選手権で、川名修徳が優勝した。 十月・第1回「延岡市医療問題懇話会」を開催した。 ・「クレアパーク延岡」工業団地造成に伴い、今井野遺跡の発掘調査を実施。旧石器時代〜縄文 	<p>九月・福田首相が辞意を表明。第九十二代首相に麻生太郎が就任した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米証券大手リーマン・ブラザーズが経営破綻に陥り、これをきっかけに金融危機・世界不況へと発展していった。 十月・宮崎県では、元気な集落づくりに取り組む集落の呼称を「いきいき集落」とすることに決定した。 ・宮崎県庁をライトアップし、乳がん月間（ピンク）世界糖尿病デー（ブルー）世界エイズデー（レッド）の啓発運動を実施した。 ・厚生年金の算定基礎となる標準報酬月額などの改ざんが発覚。社会保険庁が組織ぐるみで関与していたことが明るみに出た。 ・松下電器はパナソニックに社名を変更し、ブランドも一本化した。 ・北朝鮮が核計画申告の検証方法で合意したことを受け、米国は20年8カ月ぶりにテロ支援国家指定を解除した。 十一月・米大統領選挙で、民主党のバラク・オ

西暦 年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇八 二十	<p>時代早期の集石33基、及び弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴式住居跡24基を検出し、当時の様子が明らかとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の定住自立圏構想の先行実施団体に選ばれた。 ・柳沢町～大瀬町までを結ぶ「大瀬橋」が開通し、記念行事が行われた。 ・延岡小学校が学校安全で文部科学大臣表彰を受賞した。 ・北川町白石地区の「白石橋」が完成した。 ・市立図書館は新館開館以来の入館者数600万人を達成した。 <p>十二月・国の国土形成計画において、延岡市が九州の基幹都市に位置づけられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北浦町海舞寺遺跡・市之串遺跡・中野内遺跡・カラ石の元遺跡・野地久保島遺跡・森ノ上遺跡の調査を県埋蔵文化財センターが実施した。 ・高千穂鉄道の、高千穂～槇峰間の廃止が確定し、全線が廃止された。旧国鉄時代からの73年間の歴史に幕を閉じた。 	
二〇〇九 平成 二十一	<p>市長 首藤正治(第二十四代)</p> <p>一月・新生のべおかプロジェクトを策定した。</p>	<p>バマが大勝した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元厚生次官らを狙った連続殺傷事件が発生。元厚生事務次官山口剛彦夫妻が自宅で刺殺された。 ・イラクで5年間活動を続けていた航空自衛隊が撤収した。 ・インドの経済活動の中心地ムンバイで高級ホテルなど10カ所を標的とした、イスラム過激派による銃撃や爆弾テロがあり、170人以上が死亡した。 ・十二月・ノーベル物理学賞に南部陽一郎(シカゴ大名誉教授)、小林誠・益川敏英(名古屋大特別教授)の3氏、化学賞に下村脩(ボストン大名誉教授)と、日本人が4人同時受賞した。 ・都道府県としては24年ぶりに、宮崎県が地域づくり総務大臣表彰を受賞した。 ・深刻化する不況で「派遣切り」が増加し、「年越し派遣村」が開設された。 <p>一月・第四十四代米大統領にバラク・オバマが就任し、ヒラリー・クリントンを国</p>

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇九	二十一	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットデータセンター（IDC）の利用を開始した。 ・ 北浦町地下の茶畑から海を眺める風景が「にほんの里100選」に選ばれた。 ・ 「宮崎県北の地域医療を守る会」が発足した。 ・ 「地域医療を守る県北ネットワークの会」が発足し、医師確保の署名と適正受診の啓発を開始した。2月には15万1907人分の署名を宮崎県と宮崎大学に提出した。 二月・延岡市医師会による「消化管出血患者対応輪番制」が開始され、4月からは脳梗塞患者対応輪番制も開始された。 ・ 延岡市独自の小児救急医療電話相談「まちの看護師子どもの急病電話相談」が開始された。 三月・延岡市が定住自立圏構想における中心市を宣言した。 ・ J・A・L・E・R・T（全国瞬時警報システム）が整備された。 ・ 九州保健福祉大学と、旭化成クラレメデイカル（東京）が小型透析器「カセット式血液透析システム」を共同開発した。 ・ 延岡の海・山・川及び市民力を生かした観光振 	<p>務長官に選んだ。</p> <p>二月・原辰徳監督率いるWBC日本代表の合宿が宮崎市で行われた。</p> <p>三月・太陽光発電の拠点づくりを目指す「みやざきソーラーフロンティア構想」を策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宮崎県は県内地域資源10件を「宮崎観光遺産」として、また県内市町村一押し祭44件を「一村一祭」として選定し積極的にアピールすることとした。 ・ WBC決勝で日本が韓国を破り2連覇を達成した。 ・ 自動料金收受システム（ETC）を利用すると、地方の高速道路が土・日・祝日、上限千円で乗り放題となるサーピスがスタートした。（22年6月） 四月・宮崎県南那珂地区における総合制専門学校として「県立日南振徳高等学校」が開校した。 ・ 精神疾患に関する全県レベルの中核病院となる「県立宮崎病院精神医療センター」がオープンした。

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇九	二十一	<p>興ビジョンが策定された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延岡市新清掃工場の愛称選考委員会で、愛称を「夢の杜」に決定した。 ・南浦地区の養殖アワビが「宮崎一口あわび浦の恵」として宮崎県水産物ブランドの認証を取得した。 ・第2次生活排水対策総合基本計画を策定した。 ・延岡市社会福祉協議会が延岡市地域福祉活動計画を策定した。 ・アスリートタウンのべおか・スポーツ振興計画が策定された。 ・市議会議員定数を4人減の29人とする議員定数条例の一部改正案を可決した。 ・地元消費拡大推進委員会が発足し、第一回みなまつりと併せて商品券事業（元気のべおか商品券）がスタートした。 ・延岡市水道ビジョンを策定した。 ・九州保健福祉大学薬学科第三期生が、薬剤師国家試験合格率で2度目の日本一に輝いた。 <p>四月・ごみ処理有料化を開始し、指定ごみ袋等での排出となった。また、資源物にプラスチック製包装を追加した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・米自動車大手のクライスラーが経営破綻。6月にはゼネラルモーター(GM)も破綻。GMの負債は、米製造業最大の16・4兆円となった。 五月・北朝鮮が国連安保理のミサイル発射非難声明に反発。6カ国協議を実施した(4月)し、2回目の地下核実験を実施した。 六月・「キング・オブ・ポップス」といわれた歌手のマイケル・ジャクソンが、麻酔薬による急性中毒と鎮静剤の投与が原因で急死した。 ・米軍戦闘部隊がイラク都市部から撤退。7月には、米軍を除く多国籍軍参加部隊がイラクから撤退した。 七月・国際宇宙ステーション(ISS)の「きぼう」に4カ月余滞在了した若田光一が宇宙での諸実験等を実施し、帰還した。 八月・第45回衆議院議員選挙で民主党が圧勝した。 ・有権者が重大な刑事事件の公判に加わる裁判員裁判が東京地裁でスタート。陪審制度停止以来、66年ぶりに法廷審

西暦	年号	事項	参考事項
二〇〇九	二十一	<p>・延岡市新清掃工場「夢の杜」が供用開始となった。</p> <p>・医療機関新規開業促進補助事業を開始した。</p> <p>・JA延岡地産地消推進協議会が設立された。</p> <p>・下水処理施設等の維持管理業務を包括的民間委託とした。</p> <p>・南方東コミユニティセンターが完成した。</p> <p>五月・第1回北浦・島浦横断遠泳大会が開催された。</p> <p>・北川町家田の温故知新の会が「尺八樋」を50年ぶりに復活させた。</p> <p>七月・7月8日、午後7時8分に「チキン南蛮のまち宣言シンポジウム」が開催され「チキン南蛮発祥のまち」をアピールした。</p> <p>・ユニバシアード大会で、陸上の大西智也が銀メダルを獲得した。</p> <p>八月・世界水泳選手権大会で、松田丈志が銅メダルを獲得した。</p> <p>・全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会で、中山智予（東海中）が優勝した。</p> <p>・ISF女子ソフトボールU16ユースワールドカップで、山口清楓（南中）が選ばれた日本代表チームが金メダルを獲得した。</p>	<p>理の場に市民が並んだ。</p> <p>九月・鳩山由紀夫民主党代表が第九十三代首相に選出され、民主党、社民党、国民新党の連立内閣が発足した。</p> <p>・米大リーグ、マリナーズのイチローが、9年連続200本安打を達成。日米通算で、張本勲の3085安打を上回る最多安打を記録した。</p> <p>・国連気候変動サミットで鳩山首相が、「90年比で温室効果ガス25%削減」を公表した。</p> <p>・H2Bロケットの打ち上げに成功。無人輸送機のISS（宇宙ステーション）へのドッキングにも成功した。</p> <p>十月・第22回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクみやぎ2009」が県内15市町村で開催された。</p> <p>・JR日南線で飲肥料を使った観光列車「海幸山幸」が運行開始した。</p> <p>・栃木県足利市でおきた足利事件の再審が始まった。</p> <p>十一月・トヨタが歴史的な赤字を出し、経営難</p>

西暦 年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇九 二十一	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産業において、早期離乳キャトルステーション実証展示事業を開始した。 ・古城配水池を更新し耐震化した。 ・延岡市の地域医療を守る条例を制定した。 ・新火葬場建設の基本計画策定業務が完了した。 ・第10回「若山牧水青春短歌大賞」の募集作品が1万5278首となり、第1回～10回の累計では14万9126首となった。 ・岡富中学校の学校支援地域本部事業に、旭化成延岡OB会が学業支援ボランティアとして活動を開始した。 ・延岡市市民協働まちづくり指針が策定された。 ・循環型社会をめざした延岡市バイオマスタウン構想が公表された。 ・延岡小学校が創立120周年記念式典を行った。 ・住民参加型で道路整備等を進める「協働・共汗道づくり事業」が本格スタートした。 ・全県下にインフルエンザ警報が発令された。新型インフルエンザ（A/H1N1/2009）予防接種が実施された。 ・延岡市文化連盟が創立60周年記念祭を開催した。 ・北川町の家田古墳群・家田城の調査を県埋蔵文 	<ul style="list-style-type: none"> に陥った日本航空が政府管理下で再建を目指すなど、この年は大手企業の経営不振が相次ぎ、政府はデフレ宣言を行った。 ・新年度予算要求に盛り込まれた事業を「事業仕分け」にかけ、新政権の政策が次々と打ち出された。 ・金融サミットが相次ぐなか、中東の金融センターとして急成長してきたドバイで、政府系持ち株会社の経営危機が表面化（ドバイ・ショック）。世界で為替、株価が激動した。 ・EUの新基本条約が発効。新条約に基づく「大統領」（首脳会議の常任議長）に、ベルギーのファンロンパイ首相を選んだ。 ・GDP成長率8%台を維持する中国の胡錦濤国家主席とオバマ大統領が北京で会談。G2（二大国）論に現実味が出てきた。 ・オバマ米大統領が「核なき世界」でノーベル平和賞を受賞した。

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇〇九	二十一	<p>化財センターが実施、古墳群は古墳時代中期前半のものであること、家田城は十五世紀代に築城されたことが判明した。</p>	<p>・ 昨年1月、史上最年少（16歳3カ月）でプロとなった石川遼が、史上最年少賞金王に輝いた。</p>
二〇一〇	平成 二十二	<p>市長 首藤正治（第二十五代）</p> <p>一月・延岡市と周辺の県北8市町村が、定住自立圏形成の協定を締結した。</p> <p>・ 市立図書館は新館開館以来の貸出冊数500万冊を達成した。</p> <p>・ 松田丈志、山口清楓が「アスリートタウン延岡スポーツ特別賞」を受賞した。</p> <p>・ 市長選挙が行われた。</p> <p>二月・第二十五代延岡市長に首藤正治が就任した。</p> <p>・ 上杉忠弘（イラストレーター・延岡市出身）が日本人初の第37回「アニー賞」最優秀美術賞を受賞した。</p> <p>・ チリ沖地震により、宮崎県沿岸に津波警報が発令された（潮位が宮崎港で66cm、日向市細島で31cm上昇）。</p> <p>三月・延岡市人権教育・啓発推進方針を策定した。</p> <p>・ 第二十九代延岡市副市長に杉本隆晴が就任した。</p>	<p>一月・宮崎女子ロードレースが30年の歴史に幕を閉じることとなった。</p> <p>・ 国際定期便「宮崎↷台北線」が新たに就航した。</p> <p>・ 北米で、トヨタ自動車のアクセルの不具合によるリコールが拡がった。</p> <p>三月・市町村合併により、宮崎県は9市、14町、3村の26市町村となった。</p> <p>・ 足利事件の再審で無罪判決が下された。</p> <p>四月・宮崎県で家畜伝染病口蹄疫が発生（20日）。牛・豚・その他偶蹄類29万7808頭が殺処分された。5月には、宮崎県は非常事態宣言を発令した。口蹄疫対策特別措置法も成立した。</p> <p>・ 県内で3校目となる、県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校が開校した。</p> <p>・ 卒業後の自立と社会参加に向けた就労支援等の充実を図るため、宮崎県立み</p>

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇一〇	二十二	<ul style="list-style-type: none"> ・延岡駅周辺整備基本計画が策定された。 ・毎秒12㎡の排水能力を持つ追内川排水ポンプ場が完成した。 ・延岡市次世代育成支援行動計画の後期計画を策定した。 ・市施行の野田土地区画整理事業が完了した。 ・市政モニター制度を開始した。 ・口蹄疫対策本部を設置した。 ・市内9カ所の学校給食施設の調理等の業務を民間に委託した。 ・「メールマガジン」を開始した。 ・はしご車の老朽化に伴い、35m級先端屈折式はしご車に更新した。 ・統合簡易水道事業に着手した。 ・蛇谷トンネル及び祝子内橋の完成により、広域農道が小野町から大狭町まで開通した。 ・延岡市健康長寿推進市民会議が設立された。 ・第1回「川中マーケット」が、延岡市民協働まちづくりセンターで開催された。 ・五月・延岡農業協同組合の農林水産物直売所「ふるさと市場」が恒富町にオープンした。 ・定住自立圏共生ビジョンを公表した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なみのかぜ支援学校に高等部が設置された。 ・メキシコ湾石油掘削基地で爆発事故が発生。大量の原油が流失したが、9月には完全収束した。 ・中国が国内総生産（GDP）で日本を抜き、米国に次ぐ世界第2位の経済大国となった。 ・日本で、殺人罪の時効を撤廃した。 ・ギリシャの財政難に始まった欧州の財政危機はアイルランドに波及。ユーロの信認を揺るがした。 ・六月・普天間移設で日米合意。迷走の鳩山首相は辞任。小沢幹事長も退陣し、菅直人が第九十四代首相に選任された。 ・小惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶりに地球へ帰還。小惑星イトカワの微粒子が回収された。 ・七月・全国で多数の高齢者が所在不明となっている事実が次々と判明。「無縁社会」が深刻になった。 ・参議院議員選挙で民主党が大敗、衆参

西暦	二〇一〇
年号	二十二
事項	<p>六月・移動市長室「こんにちは市長です」を開始した。 のぼりざる倶楽部を解散し、延岡観光協会へ統合した。 第七代城山の鐘守の矢島茂・征子夫妻が勤続10年の市長表彰を受けた。 延岡南道路無料社会化実験（23年6月）開始により、国道10号土々呂地区の交通量が激減した。 「延岡発祥チキン南蛮党」が旗揚げされた。 元気のいい三北地域づくり支援事業がスタートした。 七月・延岡市景観計画を策定した。 八月・延岡市が第六次行財政改革大綱を策定した。 カルチャープラザのべおかで開催された全国高等学校総合文化祭に、秋篠宮同妃両殿下並びに佳子内親王殿下が御成りになった。 「まつりのべおか」が口蹄疫発生のため中止になった。 口蹄疫終息宣言を受け「元気のべおか復活・市民焼肉大会」が開催された。 旭化成メディカルと旭化成クラレメディカルが「基礎材料研究所」を新設した。 全国高校総体男子柔道個人で、橋口祐葵（延岡</p>
参考事項	<p>両院で多数派が異なるねじれ国会となった。 東九州自動車道「高鍋IC～西都IC」延長12kmが開通した。 八月・高校生の芸術文化の祭典「第34回国高等学校総合文化祭みやざき2010」が開催され、24部門に2万人の高校生が参加した。 口蹄疫の終息宣言が出され（27日）、被災農家等を中心に畜産地域の新生と畜産ブランドの信頼回復を目指した総決起大会「第1回はばたけ！みやざき畜産フェア」を開催した。 細島港が重要港湾103港の中から、重点港湾に選定された。 九月・尖閣諸島沖で、海上保安庁の巡視船に中国漁船が衝突し、船長を逮捕。処分保留のまま釈放した。 郵便不正事件で、村木厚子厚労省元局長に無罪判決。大阪地検特捜部の前田恒彦検事が押収資料改ざん容疑で逮捕された。</p>

西暦 年号	事 項	参 考 事 項
二〇一〇 二十二	<p>学園高校)が優勝した。</p> <p>九月・家田・川坂湿原が環境省のラムサール条約湿地潜在候補地に選ばれた。</p> <p>十月・延岡感動体験泊覧会「えんぱく」が開催された。</p> <p>・世界ジュニア柔道選手権大会で、橋口祐葵(延岡学園高校)が銅メダルを獲得した。</p> <p>・延岡観光協会が大瀬川に「延岡水郷やな」を架設した。</p> <p>十一月・「ひむか77景」スケッチ淡彩画集(淡彩画家、西川幸夫)が製作された。</p> <p>・J A延岡(延岡農業協同組合)が合併20周年を迎えた。</p> <p>・アジア競技大会で、競泳の松田丈志が金・銀・銅メダルを獲得した。</p> <p>・三川内中学校が優良PTAとして、文部科学大臣表彰を受賞した。</p> <p>・岡富小学校が創立100周年記念式典を行った。</p> <p>・延岡市追内町の市有林で、延岡市で初めての本格的な列状間伐(縦一列に間伐)を導入した。</p> <p>十二月・「第2号のべおか観光大使」を、西川幸夫(淡彩画家・北九州市在住)に委嘱した。</p> <p>・延岡市健康長寿推進市民会議が健康長寿のまち</p>	<p>・北朝鮮金正日総書記の後継者に、党中央軍事委員会副委員長長の金正恩が確定した。</p> <p>・イチローが、米大リーグ10年連続2000本安打を達成した。</p> <p>十月・鈴木章(北海道大名誉教授)、根岸英一(米バデュー大特別教授)がノーベル化学賞を受賞。2種類の有機化合物を結びつける「クロスカップリング」の新しい方法の開発が認められた。</p> <p>・チリ・サンホセ鉱山で8月に落盤事故が発生。33人が地下700mに閉じ込められたが、70日ぶりに全員生還した。</p> <p>・中国の胡錦濤国家主席の後継者に習近平が確定した。</p> <p>十一月・宮崎、大分両県で策定した東九州地域医療産業拠点構想(メデイカルバレー構想)を広くPRするために、延岡市で「東九州地域医療産業拠点構想推進大会」を開催した。</p> <p>・北朝鮮の韓国延坪島砲撃で、韓国軍と砲撃戦となった。</p>

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇一〇	二十二年	<p>「づくり市民運動の「行動計画書」を策定し、「提言書」を提出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東九州自動車道「門川IC～日向IC」の開通に伴い、日向市消防本部と消防相互応援協定を新たに締結した。 	<p>十二月・JA宮崎中央会主催による「TPOP交渉への参加阻止と宮崎の食とくらしを守る緊急集会」が宮崎市で開催された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国の民主活動家、劉曉波がノーベル平和賞を受賞した。
二〇一一	平成二十三年	<p>市長 首藤正治(第二十五代)</p> <p>一月・北川町で高病原性鳥インフルエンザが発生。県及び市で、発生農場の消毒、種鶏6956羽の殺処分を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「延岡・西臼杵ブロック地域 循環型社会推進地域計画(第二期計画)」を環境省へ提出した。 ・松田丈志、橋口祐葵が「アスリートタウン延岡スポーツ特別賞」を受賞した。 ・子宮頸がん予防ワクチン・Hibワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種の全額公費助成を開始した。 <p>二月・北浦町で高病原性鳥インフルエンザが発生。県及び市で、発生農場の消毒及びブロイラー1万8330羽の殺処分を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延岡市メデイカルタウン構想を策定した。 ・櫻山町～中川原町を結ぶ「祝子橋」が完成した。 	<p>一月・第五十三代宮崎県知事に河野俊嗣が就任した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新燃岳が52年ぶり爆発的噴火を起こした。一連の火山活動による甚大な被害に、災害救助法が適用された。 <p>二月・みやざきソーラーフロンティア構想のシンボルとして、都農第2発電所(メガソーラー)が完成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マリアナ諸島沖でニホンウナギの卵が発見した。ウナギ資源保全や養殖技術向上への貢献が期待された。 ・ニュージールランド南島クライストチャーチ市で、M6.3の直下型地震が発生。留学中の日本人28人を含む180人余りが死亡した。 <p>三月・宮城県沖約130kmを震源とした地震</p>

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇一一	二十三	<p>三月・聖心ウルスラ学園短期大学が閉校した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災により、総務省から宮崎県に「緊急消防援助隊」の出勤が要請され、延岡市消防本部からは、救助部隊1隊4人・後方支援隊1隊2人の計6人が、3月14日～21日の8日間派遣され、岩手県陸前高田市で救助・捜索活動を実施した。 ・東日本大震災に係る兄弟都市いわき市への救援物資の輸送や義援金募集を開始した。また応援給水も行った。 ・「クレアパーク延岡」工業団地第2工区が完成した。 ・県道稲葉崎～平原線「安賀多橋」が完成した。 ・五ヶ瀬川と大瀬川の合流部に隔流堤が完成した。 ・延岡市新庁舎建設基本構想・基本計画を策定した。 ・第2次延岡市環境基本計画を策定し、併せて、自然環境調査報告書を発刊した。 ・一般廃棄物処理基本計画（目標年度 平成32年）を策定した。 ・平成十七年度に事業採択された「五ヶ瀬川激甚災害対策特別緊急事業」が完了した。 	<p>が発生。震度7（M9.0）と日本観測史上最大規模で、大津波が押し寄せ、沿岸部を中心に被害者が約2万人を数えた。震災に伴い、東京電力福島第1原発では爆発事故が起き、大量の放射性物質が大気中に放出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県総合計画「未来みやざき創造プラン」を策定した。 ・八百長問題で大相撲春場所は中止となった。 ・九州新幹線（博多駅～鹿児島中央駅間）が全線開通した。 四月・県立都城きりしま支援学校小林校及び県立日向ひまわり支援学校に高等部を設置した。 ・新学習指導要領（小学校）が施行された。 五月・菅首相は東海地震の震源域にある浜岡原発の全原子炉の運転停止を要請し、中部電力も受け入れた。 ・米特殊部隊はパキスタンのイスラマバード郊外で、国際テロ組織アルカイダの指導者ウサマ・ビンラディンの隠れ

西暦	二〇一一
年号	二十三
事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 延岡市農林水産業振興ビジョンを策定した。 ・ 北川・北浦地区の遺跡詳細分布（北川150カ所、北浦80カ所）調査報告書を刊行した。 四月・ケーブルメディアアワイワイが、「ひむかスマートコミュニティ事業（高齢者見守りサービス・買い物支援サービス・地域生活情報支援サービス）」の運用を開始した。 ・ 北浦診療所を公設民営化した。 ・ 市議会議員選挙が行われた。 ・ 第三十代延岡市副市長に原田幸二が就任。副市長2人制が開始された。 ・ 高齢者用肺炎球菌ワクチンの半額公費助成を開始した。 ・ 日曜・祝日在宅当番医制の小児科において、日向地域との広域連携を開始した。 五月・柔道のフランスジュニア国際大会で、橋口祐葵（延岡学園高校）が銅メダルを獲得した。 ・ 健康長寿推進リーダー制度が発足した。 六月・津波対策の推進に関する法律が成立し、7月に地域防災計画や津波対策に関する基本方針を見直した。また12月には、避難場所等の見直しや市民協働による避難路整備に取り組んだ。
参 考 事 項	<ul style="list-style-type: none"> 家を急襲し殺害した。 六月・東電福島第1原発事故により、スイスが34年までに原子炉5基を停止させる脱原発政策を決めた（5月）。ドイツ政府も脱原発政策を決め、イタリアも国民投票で原発再開にストップがかかった。 七月・ドイツで行われたサッカーの第6回女子ワールドカップ（W杯）で、日本代表「なでしこジャパン」が初優勝。8月に国民栄誉賞を受賞した。 ・ 中国浙江省温州市の高速鉄道で列車の追突事故が発生。40人が死亡、約190人が負傷した。 ・ アナログのテレビ放送がデジタル放送に完全移行した。 八月・「ジェイエーフーズみやざき農産物処理加工施設」が完成した。 ・ 「未来みやざき子育て県民運動推進協議会」が設立された。 ・ 菅首相が退陣し、野田佳彦が第九十五代首相に選任された。

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇一一	二十三	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム事業が始まり、住宅リフォーム商品券が発売開始となった。 ・延岡の市民力・文化力を描いた映画「ここに生きる」がクランクインした。 ・七月・ハマボウサミットを市民グループと共同で開催し、観察会や後援会を実施した。 ・J A延岡主催による「県北地区TPP参加阻止総決起大会」が、延岡総合文化センターで開催された。 ・世界水泳選手権大会で、松田丈志が銀メダルを獲得した。 ・八月・旭小学校校舎新增改築工事が完工した。 ・全国高校総体男子バスケットボールで、延岡学園高校が3年ぶり3度目の優勝に輝いた。 ・十月・第五次長期総合計画「後期基本計画」を策定した。 ・内田順一（第三十五代立行司木村庄之助・舞野町出身）が宮崎県民栄誉賞を受賞した。 ・第15回のべおか天下一新能を、十世片山九郎右衛門襲名披露公演を兼ねて実施した。 ・最終処分場建設工事起工式が行われた。 ・新火葬場の管理運営業務の委託先を、プロボーズ方式により(株)南日本環境センターに決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・九月・小沢元民主党代表の資金管理団体「陸山会」の収支報告書虚偽記入事件で、元秘書3人に有罪判決が下された。 ・十月・J A宮崎中央会主催による「TPP交渉参加反対みやざき県民会議」が宮崎市で開催された。 ・口蹄疫からの復興対策事業の財源に充てるため「口蹄疫復興宝くじ」が発売された。 ・1月のチュニジアの政変をきっかけに民主化要求運動「アラブの春」が中東全域に拡がった。リビアでは8月、カダフィ大佐が反対派との戦闘で死亡。反カダフィ派が全土を制圧した。 ・7月から続いた大雨で、タイ各地で大規模な洪水が発生。日系企業も多く入居する工業団地が浸水し、11月中旬まで操業を中止した。 ・経営不振だったアップル社を、多機能携帯電話や多機能端末などで世界最大のIT企業に導いたステイブ・ジョブズが死去した。

西暦	二〇一一
年号	二十三
<p>事 項</p>	<p>した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 延岡市景観条例を施行した。 新火葬場の名称として「延岡市斎場いのちの杜」が決定した。 <p>十一月・岡富中学校が優良PTAとして、文部科学大臣表彰を受賞した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 福井県坂井市と「大規模災害時の相互応援に関する協定」を締結した。 <p>十二月・社団法人延岡湾栽培漁業協会が、脱皮イセエビの実用化に成功。ソフトシェイセエビ「YAWARA」の名称で商品化を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 延岡学園高校調理科2年の井本優香が、全国漁業協同組合連合会主催の第12回シーフード料理コンクールにおいて、お魚料理チャレンジ部門で農林水産大臣賞を受賞した。 全国高校バスケットボール選抜優勝大会で延岡学園高校(男子)が初優勝し、高校男子バスケットボール3冠(総体・国体・選抜)を達成した。 上三輪町と岡元町を結ぶ渡し船「鹿越丸」を廃止した。
<p>参 考 事 項</p>	<ul style="list-style-type: none"> 内村航平が世界体操男子個人総合で金メダルを獲得し、3連覇を達成した。 地域医療の提供体制の充実を図るため「宮崎県地域医療支援機構」を設立した。 <p>十一月・宮崎県の新たなシンボルキャラクター「みやざき大」が誕生した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 野田首相が貿易やサービスの自由化を図る環太平洋連携協定(TPP)交渉へ参加する方針を表明した。 大阪ダブル選挙で、市長に「大阪維新の会」代表の橋下徹前府知事が圧勝。知事選も同会幹事長の松井一郎元府議が当選した。 欧州の財政危機が拡大。イタリアのベルルスコーニ首相が辞任するなど、各国で政権交代が相次いだ。 <p>十二月・北朝鮮の金正日総書記が死亡した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 東九州メデイカルバレー構想が、国から地域活性化総合特区としての一次指定を受けた。

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇二二	平成二十四	<p>市長 首藤正治(第二十五代)</p> <p>一月・延岡市暴力団排除条例が施行された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松田丈志並びに延岡学園高校男子バスケットボール部が「アスリートタウン延岡スポーツ特別賞」を受賞した。 ・健康長寿のまちづくり市民運動の表彰制度である「13万人のチャレンジゲット健康長寿ポイント」が事業化された。 <p>二月・延岡市は「自治体クラウドシステム」を本格稼働させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延岡西日本マラソンが九州七県への地上波テレビ生中継に加え、BS放送による全国生中継で放映された。 ・県北地域初のコミュニティ放送局「FMのべおか」が開局した。 ・宮崎県との共同寄附により、宮崎大学医学部に寄附講座が開設された。 ・延岡の市民力・文化力を描いた映画「ここに生きる」が完成し、東京で初上映された。 ・堀端宏行(旭化成・マラソン)が平成23年度の県スポーツ栄誉賞を受賞した。 <p>三月・延岡西環状線のうち檜山町交差点〜大門町の区</p>	<p>一月・国際サッカー連盟が、なでしこジャパンの主将澤穂希を、世界最優秀選手として表彰した。</p> <p>二月・宮崎県は記紀編さん1300年記念事業推進協議会を設立した。</p> <p>三月・国の中央防災会議が南海トラフ地震による震度分布と津波高を想定。10県で震度7の地震、高知県では最大34・4mの津波が起こる可能性を発表した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都城市山之口町の王子山遺跡から食用植物として国内最古級のネギの根元などが見つかった。 ・ロシア大統領選でプーチン首相が当選。メドベージェフ大統領が首相となった。 ・3月期連結決算で、パナソニック、ソニー、シャープの家電大手メーカーがそろって過去最大の赤字を計上。3社合計総額は1兆6000億円超となった。 <p>四月・ミヤンマーの連邦議会補欠選挙で野党が圧勝、アウン・サン・スー・チーも当選した。</p>

西暦	
年号	
事 項	<p>二〇二二 二十四</p> <p>間260mが開通した。 ・方財町と須崎町を結ぶ災害時の緊急連絡路が完成した。 ・稲葉崎地区から無鹿地区を流れ、友内川に注ぐ稲田川排水路(延長1.72km)が完成した。 ・県立延岡わかあゆ支援学校・県立延岡ととろ聴覚支援学校・県立延岡たいよう支援学校の3校で、それぞれ閉校式が行われた。4月、延岡西高校跡地に、3校を統合した県立延岡しろやま支援学校が設立された。 ・介護老人保健施設「のべおか老健あたご」(80床)が新設された。 ・第2次のべおか男女共同参画プランを策定した。 ・西環状線に架かる「五ヶ瀬大橋」が開通し、記念行事が行われた。 ・東海中学校屋内運動場新增改築工事が完工した。 ・延岡市斎場「いのちの杜」が供用開始となった。 ・市立図書館北浦分館が開館した。 ・延岡市養護老人ホーム「若葉荘」を社会福祉法人「みのり会」に譲渡した。 ・下水道使用料を改定した(平均改定率25%)。 ・宮崎大学医学部附属病院を基地病院として、ド</p>
参 考 事 項	<p>・新学習指導要領(中学校)が施行された。 ・金正恩が朝鮮労働党の第一書記、国防委員会第一委員長に就任し、金正恩の新体制が発足した。 ・宮崎大学附属病院救命救急センターが運営を開始した。 ・郵政民営化法改正案が成立した。 ・五月・東京スカイツリーが開業。世界一高い634mの自立式電波塔が誕生した。 ・金環日食が国内で25年ぶりに観測された。 ・北海道電力泊原発3号機の検査入りで国内原発50基が運転を停止。原発の発電量は42年ぶりにゼロとなった。 ・六月・アラブ諸国でイスラム勢力が台頭。エジプト大統領にムスリム同胞団のムハンマド・ムルシが当選した。 ・七月・綾町を中心とする照葉樹林地帯1万4580haがユネスコエコパークに登録された。 ・九州北部豪雨が発生(11日)。14日ま</p>

西暦 年号	二〇二二 二十四
事 項	<p>クターヘリが運行を開始。県立延岡病院の敷地内に、救命救急センターを設置する工事に着手した。</p> <p>五月・中国の大連金州新区と友好都市を締結した。</p> <p>延岡市がFMのべおかと「災害等に係る緊急放送の相互協力に関する協定」を締結した。</p> <p>六月・延岡市有林505・20haの間伐により吸収した1万2303トンの二酸化炭素が、J・VER認証運営委員会により審査・登録され、クレジットとして発行された。</p> <p>・移動図書館車「せせらぎ号」による北浦地区への巡回サービスを開始した。</p> <p>七月・ごみの資源物に古布を追加し、対象品目を拡充した。また、し尿処理手数料を改定した。</p> <p>・松田丈志がロンドンオリンピックの競泳男子200mバタフライで銅メダル、同400mメドレーリレーで銀メダルを獲得した。</p> <p>・外国人登録法が住民基本台帳法に統合されたため、外国人住民（特別永住者・中長期在留者）にも住民票が作成された。</p> <p>八月・松田丈志が延岡市民栄誉賞特別賞を、指導者の久世由美子が延岡市特別功労賞を受賞。また9</p>
参 考 事 項	<p>での集中豪雨で、熊本・福岡・大分の3県で死者・行方不明者は32人になった。</p> <p>・東大、東工大など日本の研究機関も参加している欧州合同原子核研究所は、自然界の最も基本的な粒子の1つで、物に重さ（質量）を与えるとされる「ビッグス粒子」とみられる新粒子を発見したと発表した。</p> <p>八月・消費税法を改正。平成26年4月に8%、27年10月に10%と、2段階で引き上げることになった。</p> <p>・内戦が激化しているシリアで、日本人女性記者が銃撃戦に巻き込まれ死亡した。</p> <p>・韓国の李明博大統領による竹島上陸が発端となり韓国との関係が、また10月には日本政府が尖閣諸島の国有化に踏み切ったことで中国との関係がともに悪化した。中国では反日デモが激化した。</p> <p>・ロンドン五輪で日本勢が史上最多38個</p>

西暦	年号	事 項	参 考 事 項
二〇二二	二十四	<p>月には松田丈志が宮崎県民栄誉特別賞を、久世由美子が知事感謝状を受賞した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 旭化成ケミカルズ株式会社第2火力発電所パイオマス発電施設が稼動した。 全国高校総体男子バスケットボールで延岡学園高校が4度目の優勝。男子柔道個人で、橋口祐葵（延岡学園高校）が、カヌー男子スプリント・カナディアンシングルで松田裕介（延岡星雲高校）が優勝した。 <p>九月・「五ヶ瀬川水防特定河川事業」において、下曾木地区輪中堤が完成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北川湿原（家田湿原・川坂湿原）の観察会を実施した。 <p>十月・障がい者の虐待に対応する障がい者虐待防止センターを障がい福祉課に設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> F Mのべおかを活用した市政広報番組「のべおか市政タイム」「のべおか伝言板」の放送を開始した。 ぎふ清流国体でカヌー男子スプリント・カナディアンシングルで、松田裕介（延岡星雲高校）が優勝した。 アジアユース女子バレーボール選手権大会で、 	<p>のメダル（金7、銀14、銅17）を獲得、国民は大いに盛り上がった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の中央防災会議が第二次の南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等を発表。最悪の場合、32万3000人が死亡する可能性を示した。 <p>九月・中国の国内総生産が前年同期比で8%を割り込んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> オウム真理教信徒3人を逮捕、起訴。17年に及ぶオウム捜査は幕を閉じた。 <p>十月・米新型輸送機オスプレイ12機が沖縄の米軍普天間飛行場に配備された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人工多能性幹細胞（iPS細胞）を開発した中山伸弥（京都大教授）がノーベル医学生理学賞を受賞。12月に授賞式が行われた。 5年に一度の和牛オリンピック「全国和牛能力共進会」が長崎で開幕。宮崎県勢は9部門中5部門を制し総合優勝、二連覇を達成した。11月には同宮崎県推進協議会に宮崎県民栄誉賞が贈られ、日本一「宮崎牛」感謝祭が開催さ

西暦 年号	事 項	参 考 事 項
二〇二二 平成 二十五	<p>浮島香加子（延岡学園高校）が選ばれた日本代表チームが金メダルを獲得した。</p> <p>十一月・三川内中学校が「全国野生生物保護実績発表大会」で文部科学大臣奨励賞を受賞した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月に始まった市庁舎解体工事（一次解体）の建物解体がほぼ終了した。 <p>十二月・東九州自動車道（須美江IC～北川IC間）延長5・6 kmと、国道10号延岡道路（北川IC～延岡JCT・IC間）延長12・8 kmが同時に供用開始となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国高校男子バスケットボール選抜優勝大会で延岡学園高校が優勝し、二連覇を達成した。 ・ フランスで行われた、柔道のクリスマス杯エクスンプロヴァンスジュニア国際大会で橋口祐葵（延岡学園高校）が金メダルを獲得した。 <p>市長 首藤正治（第二十五代） 二月・延岡市制施行80周年記念式典が開催され延岡市歌の追詞等が発表された。</p>	<p>十一月・共和党のロムニーを破り、オバマ米大統領が再選された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国の習近平が中国共産党総書記に就任、習近平体制が発足した。 <p>十二月・国際社会の制止を振り切り、北朝鮮が長距離弾道ミサイル発射を強行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東九州自動車道「都農～高鍋間」延長12・9 kmが開通した。 ・ 韓国大統領選挙で朴槿恵が当選、韓国初の女性大統領となった。 ・ 第46回衆議院議員選挙が実施され、自民党が圧勝、3年3カ月ぶりに政権を奪還。自民党の安倍晋三総裁は特別国会で、第九十六代首相に選任された。 <p>一月・第91回全国高校サッカー選手権大会決勝で、鵬翔高校が京都橘高校を破り、県勢初の日本一に輝いた。</p>